



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

### ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲注意

●本体と上レールへのかかりを5mm以上確保してください。かかりが少ない場合は、建付け調整を必ず行ってください。本体が枠から外れてケガをする原因になります。

### ■取付け上のおお願い

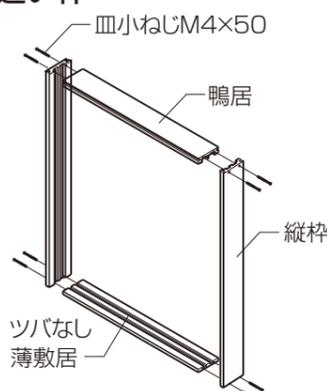
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買い求め店までご連絡ください。(施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)
- 運搬・加工の際は、傷つかないように取扱ってください。また、水・直射日光の当たる場所に、開梱状態で置かないでください。ソリ・ねじれの原因になります。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。
- 造作材・建具枠の下地材および、かい木には、合板などの乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」またはノンホルムタイプを使用してください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから取付けてください。
- 梁またはまぐさが軽量鉄骨の場合は、ねじ保持力が弱いので直接固定しないでください。必ず枠と軽量鉄骨の間に木枠を入れて取付けてください。また、枠の垂下がり・ゆがみ防止のため、壁の仕上げ材に合板を使用してください。
- 枠は取付け前に開梱した状態で現場に置かないようにしてください。現場の粉塵がレールや戸車に付着し、作動不良の原因になります。
- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締め込んでください。ただし、たたき込まないようにしてください。保持力低下の原因になります。
- 各部材のガイド穴にゴミが入らないようにしてください。
- 枠の組立て後、揺らす・ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 枠はたおれ、傾き、タイコ、ツツミ、ねじれがないように取付けてください。片引き枠の場合は、中縦枠の施工にご注意ください。吊込み後、本体とのすき間・干渉の原因となります。
- 片引き・引分けの建具引込み部の半壁は、枠を開口部に取付けてから取付けてください。
- 鴨居取付けねじの締めすぎにご注意ください。上レールを変形させると本体の動きが悪くなる場合があります。本体吊込み時に動きが悪い場合は、ねじをゆるめてください。
- 床(下地)は段差やすき間がないように仕上げしてからフラット下レールを固定してください。
- フラット下レールの取付けねじを締めすぎないでください。レールが変形し、本体開閉不具合の原因になります。
- ツバ材取付けの際、ハンマーなどで強くたたき込まないでください。
- 本体は落下させたり、立てかける時に衝撃を与えないでください。本体部品が損傷し、開閉に支障をきたす原因になります。
- ブレーキ力調整ねじを弱方向に回す場合は、ブレーキの表面よりねじ頭を1.5mm以上出さないように調整してください。
- 製品取付けの際の建具養生時に表面シートにテープ(ガムテープ、養生テープ、マスキングテープなど)を直貼りしないでください。テープをはがす際、表面シートを傷めたり、テープの粘着剤が表面シートに付着したまま残ることがあります。

### ■本体保管上のおお願い

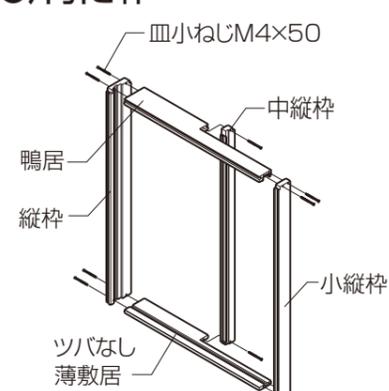
- 本体のソリ・ねじれ防止のため、下記場所に置いたり、保管しないでください。
  - ・直射日光の当たる場所
  - ・昼夜などで温度差の激しい場
  - ・湿気の多い場所
- 本体を長期間保管する場合は、寝かせた状態で保管してください。立て置きでの保管はソリ・ねじれなどの原因になります。
- ※建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、取付け完了後に吊込むことをおすすめします。

### ■部品・部材の名称

#### ●引違い枠



#### ●片引き枠



※図はツバなし薄敷居の場合を示す。

## ■部品・部材の明細

		片引き 1枚建	片引き 2枚建	片引き 3枚建	引違い 2枚建	引違い 3枚建
本体	本体	1梱包×1	1梱包×2	1梱包×3	1梱包×2	1梱包×3
鴨居	鴨居	1	1	1	1	1
	上レール	1	1	1	1	1
	枠用部品セット	1	1	1	1	1
縦枠	縦枠	1	1	1	2	2
	中縦枠	1	1	1	-	-
	小縦枠	1	1	1	-	-
下枠	埋込敷居(別売品)	敷居:1、レール:1	敷居:1、レール:2	敷居:1、レール:3	敷居:1、レール:2	敷居:1、レール:3
	フラット下レール(別売品)	1	1	1	1	1
	ツバなし薄敷居(別売品)	敷居:1、レール:1	敷居:1、レール:2	敷居:1、レール:3	敷居:1、レール:2	敷居:1、レール:3
幅木(別売品)		1梱包2枚入 L:1000			-	-

## ■部品セット

枠用部品セット	片引き1枚建 引違い2枚建 (NC140、156)	片引き1枚建 引違い2枚建 (NC95、115)	片引き2枚建 片引き3枚建 引違い3枚建	プッシュ錠セット		引手セット	
				プッシュ錠本体	1個	引手	2個
組立て用皿小ねじM4×50	4本	4本	4本	プッシュ錠カバー	1個		
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×50	5本	5本	9本				
縦枠取付け用DNねじ(皿木ねじ)φ3.8×50	8本	8本	16本				
プッシュボタン	8個	8個	16個				
穴埋めシールシート	-	1枚	-				

ツバなし薄敷居用部品セット	片引き1枚建	片引き2枚建 片引き3枚建	引違い2枚建 引違い3枚建
組立て用皿小ねじ M4×50	5本	5本	4本
薄敷居取付け用特殊ねじφ3.3×30	6本	12本	12本

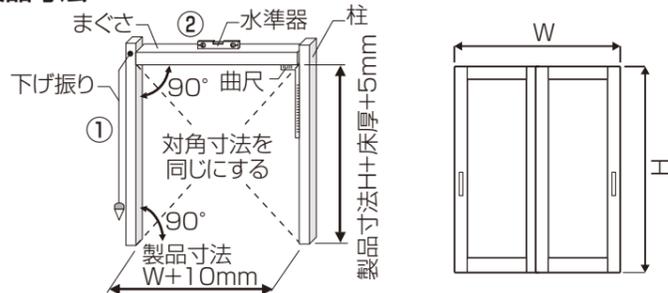
埋込敷居用部品セット	片引き1枚建	片引き2枚建 片引き3枚建 引違い2枚建 引違い3枚建
敷居取付け用なべタッピンねじφ4×30	5本	9本
Vレールスペーサー	-	4個
戸じゃくり1本用ピース	2個	2個

フラット下レール用部品セット	片引き1枚建 引違い2枚建	片引き2枚建 片引き3枚建 引違い3枚建
レール取付け用皿タッピンねじφ4(D6)×18	14本	28本
戸じゃくり1本用ピース	2個	2個

## ■開口部の作り方

- ①下げ振りを使って、柱が垂直になるように取付けてください。
- ②水準器・曲尺を使って、まぐさが柱と垂直で、水平になるように取付けてください。

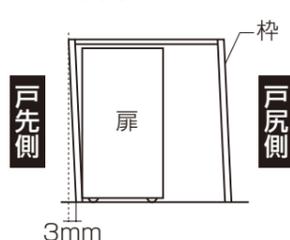
### ●製品寸法



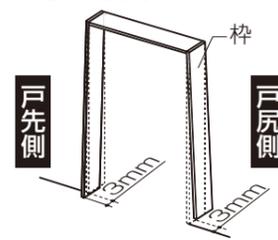
### ■取付け精度の許容範囲

※横方向のたおれ・奥行き方向のねじれ・枠のタイコ・ツツミが3mmを超える場合は、3mm以内になるように取付けを修正してください。(本体が吊込めないなどの作動不良の原因となります。)

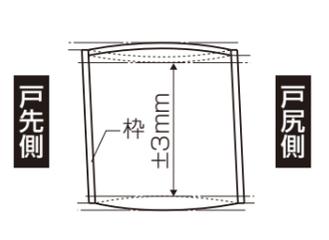
#### ●横方向のたおれ



#### ●奥行き方向のねじれ



#### ●枠のタイコ・ツツミ



## ■床の張り方

### 〔埋込敷居の場合〕

#### ●引違い2・3枚建

※床材間に敷居が入りますので、柱芯(建具芯)を中心にa寸法あけて、床材を張ってください。

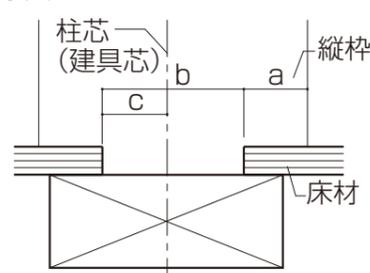
※床材の開口寸法(a寸法)が大きすぎたり狭すぎると、床のすき間が見えたり敷居が入りにくい原因となります。

		柱芯(建具芯)	a 寸法
引違い2枚建	NC95	縦枠	60
	NC115		
	NC140		
	NC156		
引違い3枚建	NC156	縦枠	100

#### ●片引き

※床材間に敷居が入りますので、柱芯(建具芯)より引込み側にb寸法あけて、床材を張ってください。柱芯と建具芯が合っていない場合は、縦枠端部よりa寸法内側に入った所にb寸法あけて、床材を張ってください。

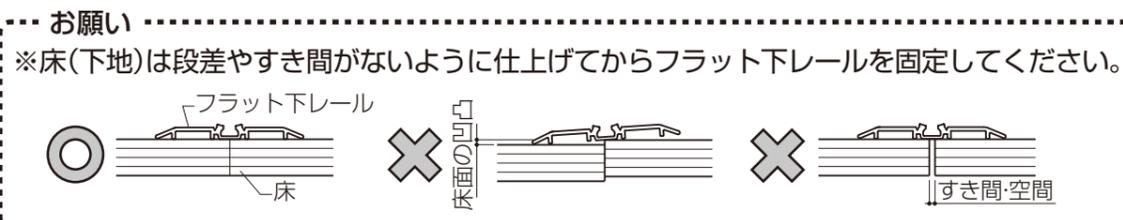
※床材の開口寸法(b寸法)が大きすぎたり狭すぎると、床のすき間が見えたり敷居が入りにくい原因となります。



		a	b	c
片引き1枚建	NC95	175	30	0
	NC115	275	30	0
	NC140	40	30	0
	NC156	48	30	0
片引き2枚建	NC180	32	60	2
片引き3枚建	NC210	22	100	17

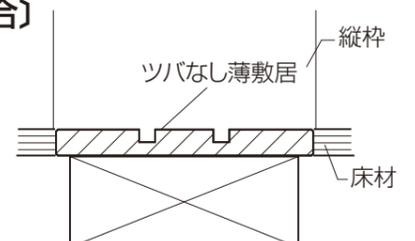
### 〔フラット下レールの場合〕

床のせ仕様になるため、床の開口をつくる必要はありません。



### 〔ツバなし薄敷居の場合〕

枠取付け後、縦枠・薄敷居にそって床材を張ってください。



## 取付け順序

1 枠の組立て

2 枠の取付け

3 幅木の取付け

(片引き・幅木を使用する場合)

4 引手の取付け

5 錠の取付け



### 本体の調整 (5・6 ページ)

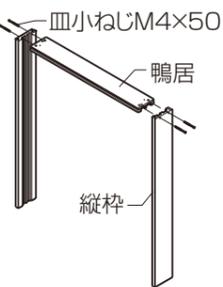
- 1 上下調整
- 2 左右調整
- 3 ブレーキの左右調整
- 4 ブレーキ力調整
- 5 引戸錠のかかり調整
- 6 異常時の対処方法

### 1 枠の組立て

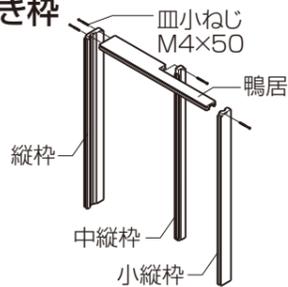
〔埋込敷居・フラット下レールを使用する場合〕

- 下図のように、各部材を組合わせ、組立て用皿小ねじ M4×50 で固定します。

#### ● 引違い枠



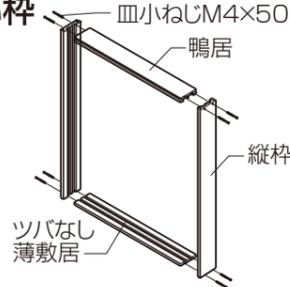
#### ● 片引き枠



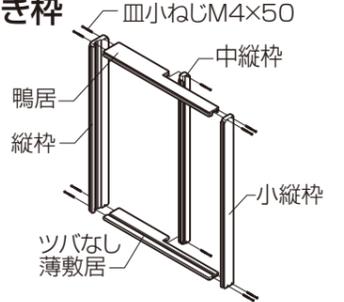
〔ツバなし薄敷居を使用する場合〕

- 下図のように、各部材を組合わせ、組立て用皿小ねじ M4×50 で固定します。

#### ● 引違い枠

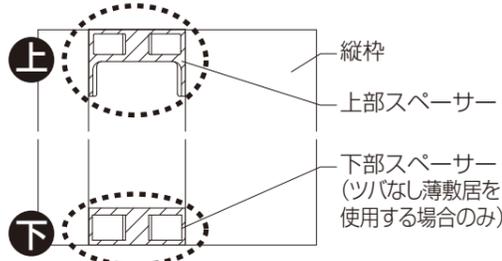


#### ● 片引き枠



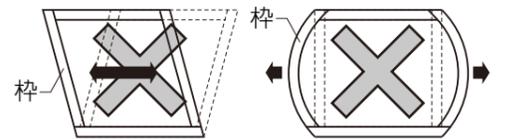
※NC95/115の場合、組立て用ねじ部に穴埋めシールを張付けてください。

縦枠には上下があります。大きなスペーサーが付いている方が上側です。組み合わせる向きにご注意ください。  
※下部スペーサーはツバなし薄敷居を使用する場合のみつけています。



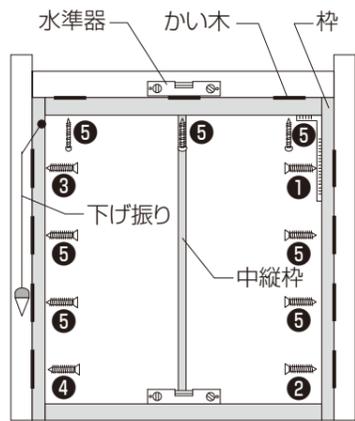
#### 枠組立て上のごお願い

- ※ガイド穴にゴミなどが入らないようにしてください。
- ※組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締め込んでください。ただし、たたき込まないようにしてください。保持力低下などの原因になります。
- ※枠組立て後、揺らす・引っ張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因になります。



### 2 枠の取付け

開口部と、縦枠・(中縦枠・小縦枠)・鴨居との間にかい木を入れて取付けます。

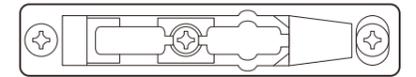


- ① 枠を開口部にはめ込んで、下枠・鴨居の水平を確認してから、縦枠の①を仮固定してください。
  - ② 下げ振りを使って垂直・たおれがないことを確認してから、縦枠の②を仮固定してください。
  - ③ 水準器で下枠・鴨居の水平を確認してから縦枠の③を仮固定してください。
  - ④ 下げ振りを使って垂直・たおれがないことを確認してから、縦枠の④を仮固定してください。
  - ⑤ 枠の水平・垂直を再度確認して、上下、左右のすき間をかい木で調整後、残りのねじで本固定してください。
- ※枠に水系を張るなどして枠が曲がっていないことを必ず確認してください。

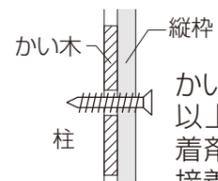
※中縦枠が曲がらないように注意してください。

※引違い枠はブレーキ部品側が戸先になります。開口部に取付ける前に、必ず向きを確認してください。

(ブレーキ部品) 部品色: ブラウン



鴨居が持ち上がらないように枠接合部にかい木を入れます。



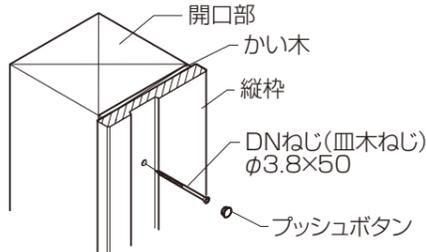
かい木は100mm以上を使用して接着剤(現場手配)で接着してください。

### 鴨居

※鴨居は鴨居取付け用トラスタッピンねじ φ4×50で固定してください。

### 縦枠・小縦枠

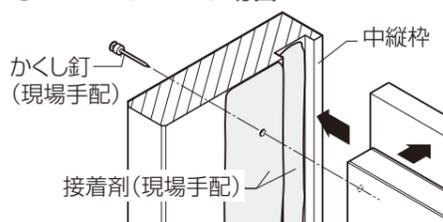
- ① 縦枠取付用DNねじ(皿木ねじ) φ3.8×50で固定します。
- ② プッシュボタンを取付けてください。



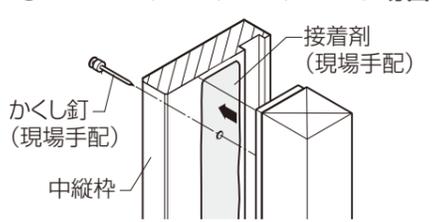
### 中縦枠の固定

※裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、かくし釘(現場手配)で固定します。

#### ● NC95、115の場合



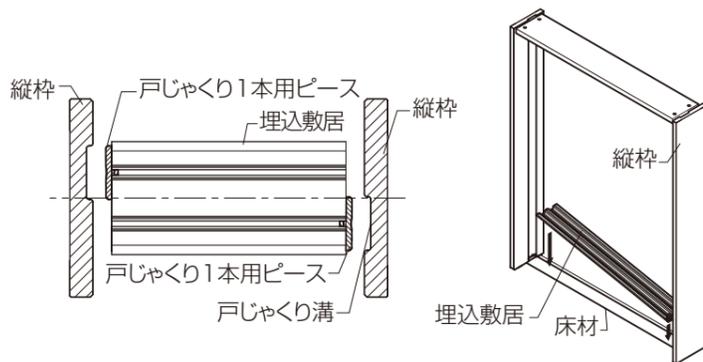
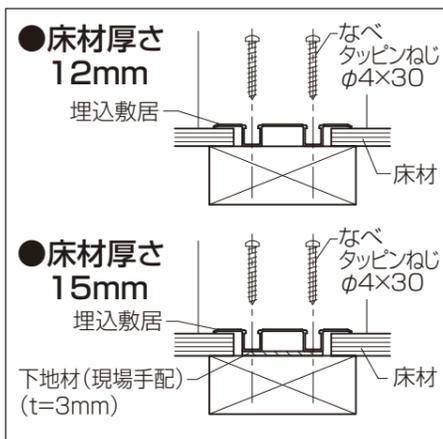
#### ● NC140、156、180、210の場合



## 【埋込敷居の取付け】

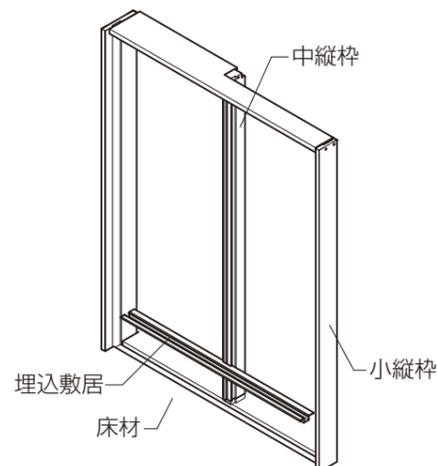
### ●引違い2・3枚建枠

- ①埋込敷居に同梱されている戸じゃくり1本用ピースを埋込敷居に取付けて縦枠戸じゃくり溝にはめ込みます。
- ②縦枠の戸じゃくり溝に合わせて仮置きしてください。
- ③敷居取付け用なべタッピンねじ  $\phi 4 \times 30$ で固定します。



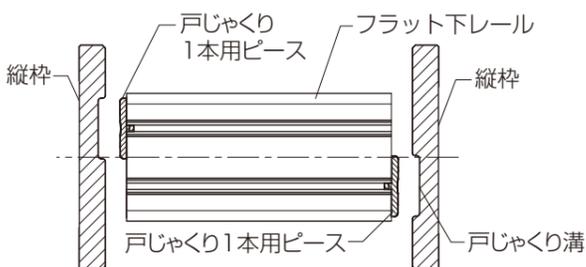
### ●片引き枠

(片引き2・3枚建は片引き1枚建枠に準じる)  
※埋込敷居の取付は引違い枠を参照してください。



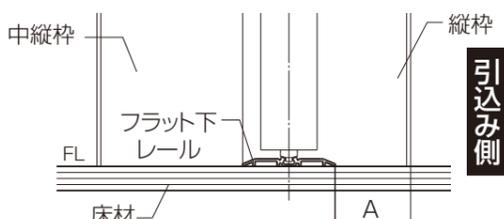
## 【フラット下レールの取付け】

- ①フラット下レールに同梱されている戸じゃくり1本用ピースをフラット下レールに取付けて縦枠戸じゃくり溝にはめ込みます。



### ●片引き枠

※引込み側にA寸法あけて仮置きしてください。



※中縦枠部は「**2**枠の取付け【埋込敷居の取付け】」を参照してください。

### ●引違い枠

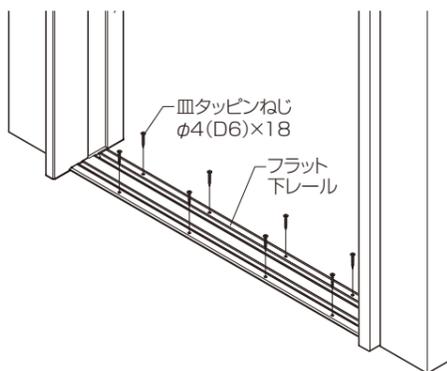
※はめ込んだ戸じゃくりピースを縦枠の戸じゃくり溝に合わせます。

(単位:mm)

枠種類	A
NC95(片引き1枚建)	3
NC115(片引き1枚建)	12
NC140(片引き1枚建)	29
NC156(片引き1枚建)	32.5
NC180(片引き2枚建)	16.5
NC210(片引き3枚建)	6.5

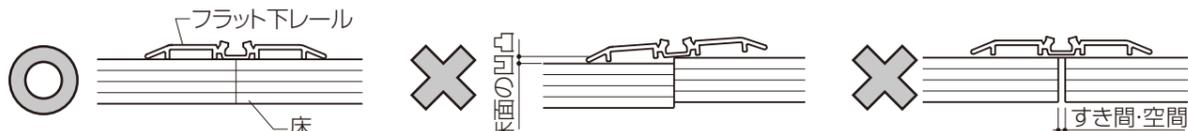
- ②縦枠に合わせて仮置きしてください。

- ③フラット下レールをレール取付け用皿タッピンねじ  $\phi 4(D6) \times 18$ で固定します。



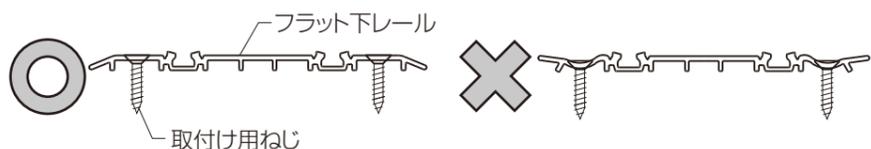
#### お願い

※床(下地)は段差やすき間がないように仕上げしてからフラット下レールを固定してください。



#### お願い

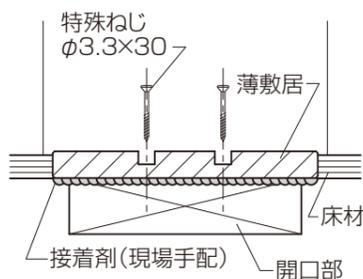
※取付けねじを締めすぎないでください。フラット下レールが変形し、本体開閉不具合の原因となります。



## 【ツバなし薄敷居の取付け】

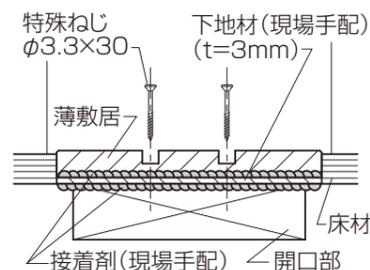
### ●床材厚さ12mm

- ※必ず薄敷居に接着剤(現場手配)を付け、躯体に固定してください。
- ※薄敷居取付け用特殊ねじ  $\phi 3.3 \times 30$ は端部より100mm離し、450mmピッチで接着剤(現場手配)と併用して取付けてください。



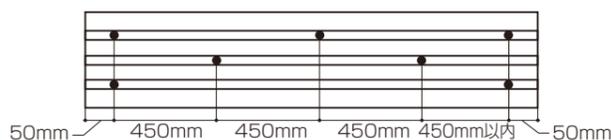
### ●床材厚さ15mm

- ※必ず薄敷居と下地材に接着剤(現場手配)を付け、躯体に固定してください。



- ※薄敷居取付け用特殊ねじ  $\phi 3.3 \times 30$ は端部より50mm離し、450mmピッチで固定してください。

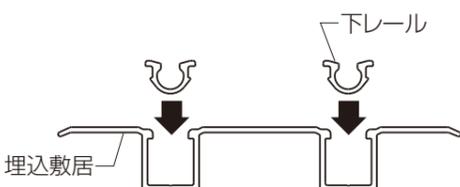
### ●固定位置 例：3枚建の場合



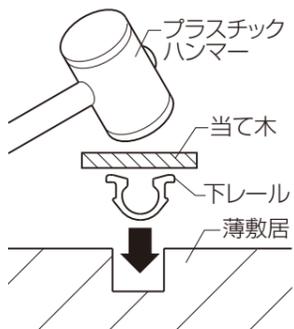
## ■下レールの取付け

- 敷居の溝にプラスチックハンマーなどでたたき込んで固定します。

### 【埋込敷居の場合】

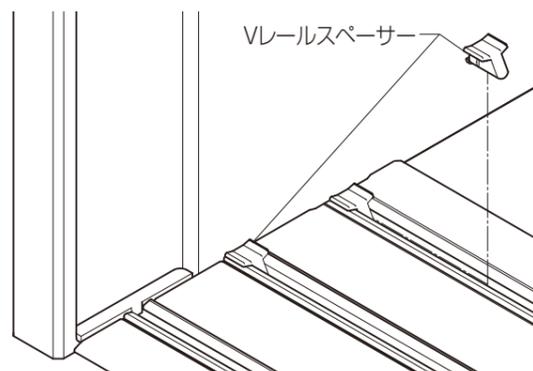


### 【薄敷居の場合】



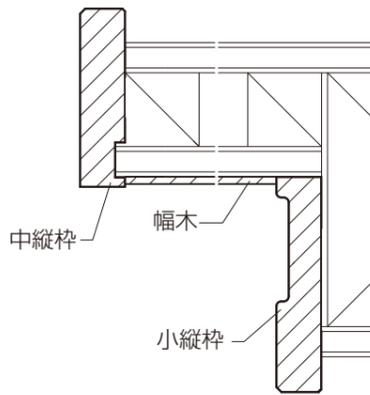
## ■Vレールスペーサーの取付け

- ※埋込敷居・片引き1枚建以外
- 戸じゃくりのない部分のレールにVレールスペーサーを取付け縦枠側に滑らせて固定します。



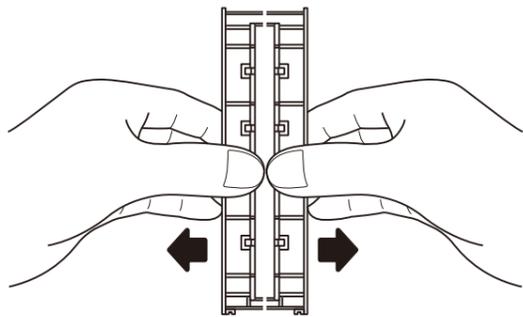
### 3 幅木の取付け (片引き枠の場合・別売品)

※幅木部材を現場合わせでカットします。裏面にまんべんなく接着剤 (現地手配) を塗布し、専用のかくし釘で固定してください。かくし釘のピッチは、200 ~ 300mm です。

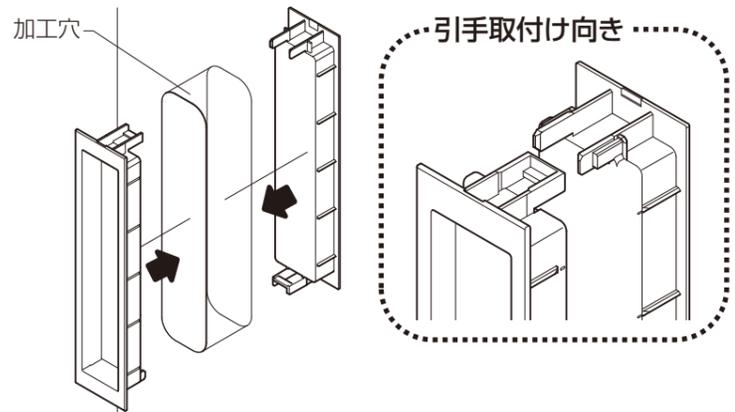


### 4 引手の取付け

①引手は仮組み状態になっています。平行に引き抜いてください。

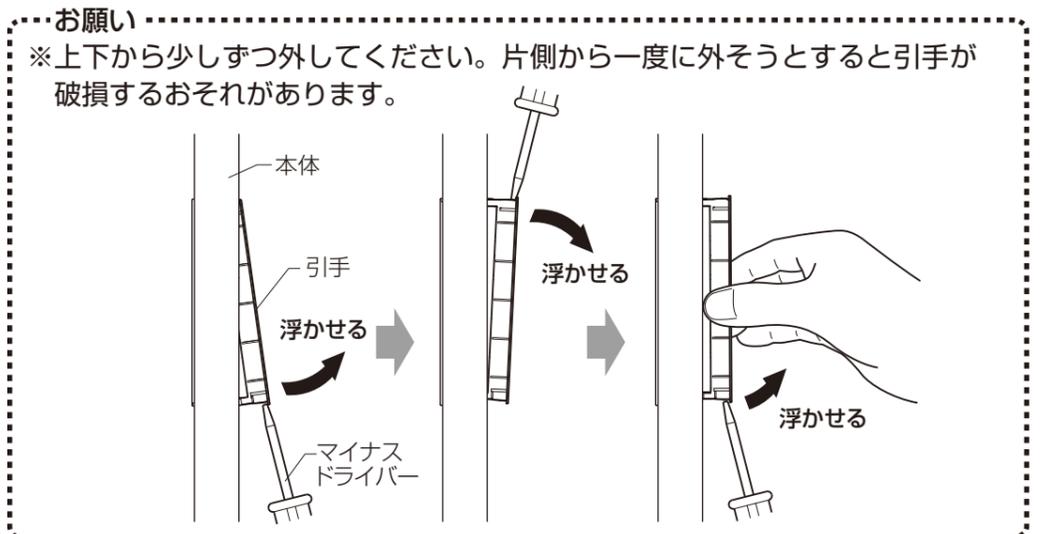
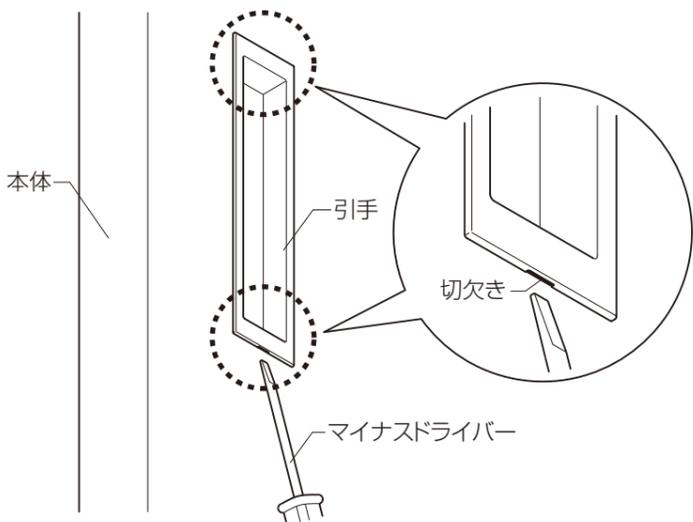


②引手本体の加工穴に引手を取付けます。表裏の引手が上下互い違いになる向きにし、加工穴に押し込み固定してください。



### ●引手の取外し

引手上下にある切欠きに本体を傷つけないようにマイナスドライバーを差込み、少しずつ引手を浮かせて外します。



### 5 錠の取付け

※錠の取付けについては、錠セットに同梱の取付け説明書をご覧ください。

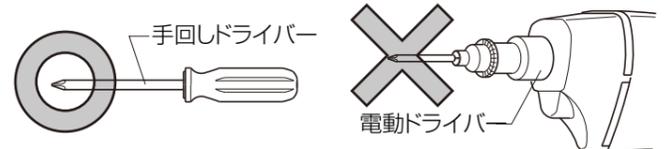
### ■本体の調整

#### 1 上下調整 (調整幅 +4mm、-2mm)

※上レールに5mm以上かかるよう調整してください。

- ①本体両下端の上下調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。
- ②調整後、本体の上レールへのかかりが5mm以上あるか、確認してください。

※本体の調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。  
※電動ドライバーは、使用しないでください。ねじ頭が壊れるおそれがあります。



### ▲注意

- 本体と上レールへのかかりを5mm以上確保してください。かかりが少ない場合は、本ページの本体の調整を必ず行ってください。本体が枠から外れてケガをする原因になります。

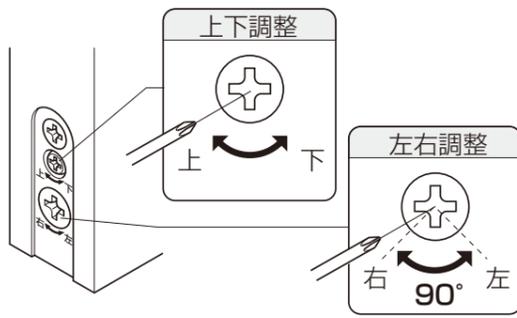
Vレール引戸  
建付け調整動画



973347946002

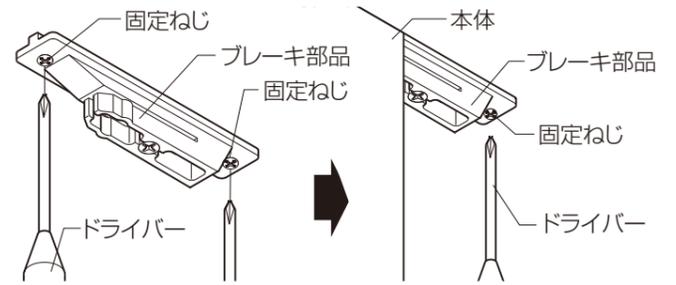
## 2 左右調整(調整幅±2mm)

本体両下端の左右調整ねじを左に回すと本体が左に動き、右に回すと右に動きます。  
 ※左右調整ねじの可動範囲は90°です。  
 これを超えて無理に回さないでください。



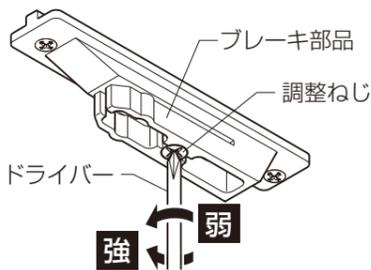
## 3 ブレーキの左右調整

本体の左右調整時、ブレーキの左右調整も行ってください。  
 上レール内側に付いているブレーキ部品の固定ねじをゆるめ、下図のように本体を途中まで閉じてください。このまま片側の固定ねじを締め、本体を開けて反対側の固定ねじも締めてください。



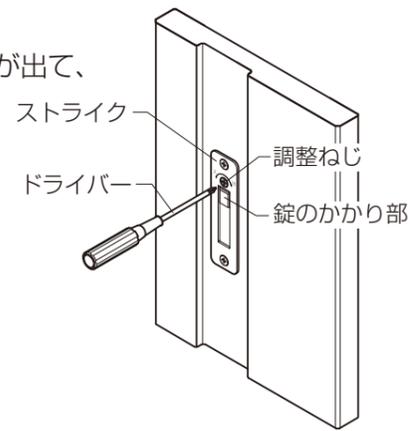
## 4 ブレーキ力調整

上レール内側に付いているブレーキ部品の調整ねじで、ブレーキ力を調整してください。



## 5 引戸錠のかかり調整

ストライクの調整ねじを右に回すと錠のかかり部が出て、左に回すと錠のかかり部が奥に入ります。



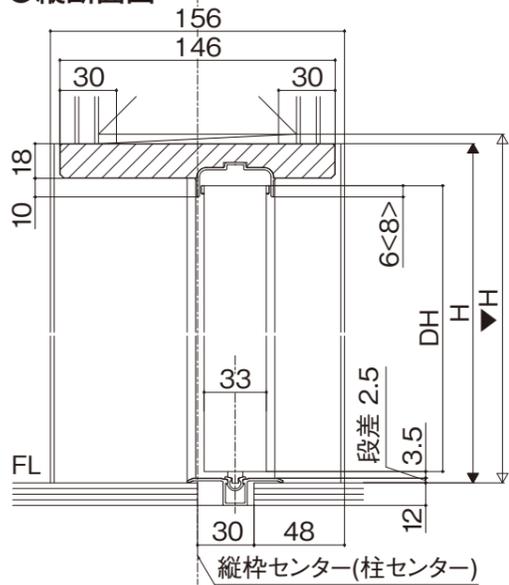
## 6 異常時の対処方法

区分	現象	チェックポイント	対処方法
共通	本体同士が当たる 	●戸車調整が不適當	戸車の左右調整をしてください。 ※左右調整ねじの可動範囲は90°です。これを超えて無理に回さないでください。
	鍵がかからない ガチッ! 	●ストライク調整が不適當	ストライク調整ねじを右に回してください。
	鍵が甘い (縦枠と本体戸先にすき間が空く) 	●ストライク調整が不適當	ストライク調整ねじを左に回してください。
ブレーキ	閉まりきらない すき間 	●本体がブレーキと接触している。	戸車を下げてください。
	ブレーキが弱い 	●ブレーキ力調整が不適當	ブレーキ調整ねじを右に回してください。
	ブレーキが強い (開けはじめが重い) 	●ブレーキ力調整が不適當  ●ブレーキ左右調整が不適當	ブレーキ調整ねじを左に回してください。  固定ねじをゆるめ、本体を閉めて位置合わせをしてから固定ねじを固定してください。

■納まり図

■室内引戸 Vレール方式 片引き1枚建

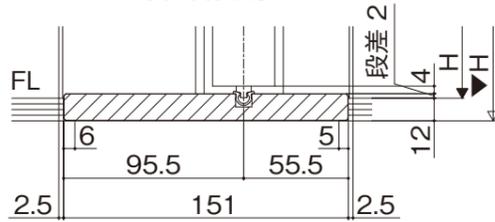
●縦断面図



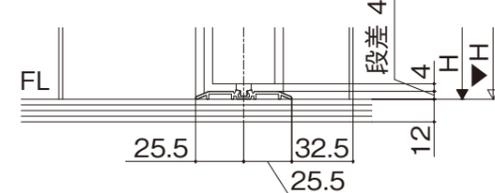
※< >内はフラットレール納まりの寸法を示します。

●埋込敷居使用

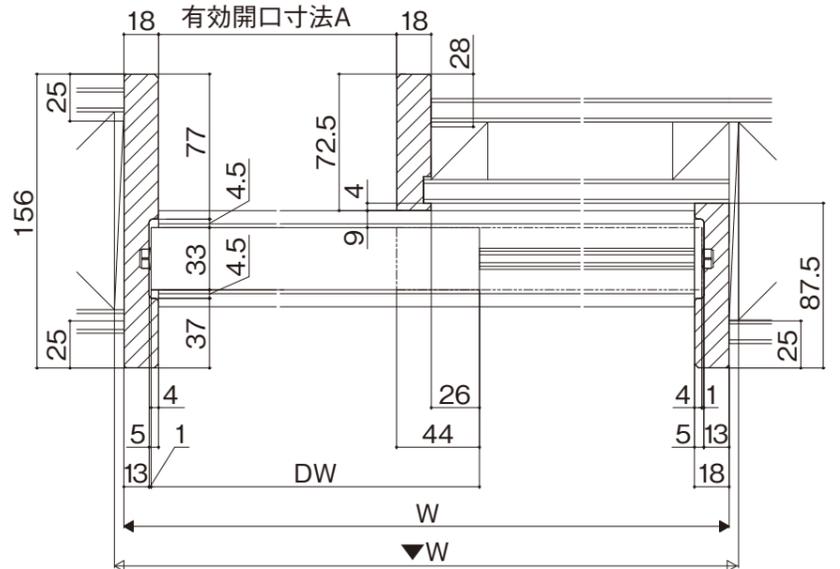
●ツバなし薄敷居使用



●フラット下レール使用



●横断面図



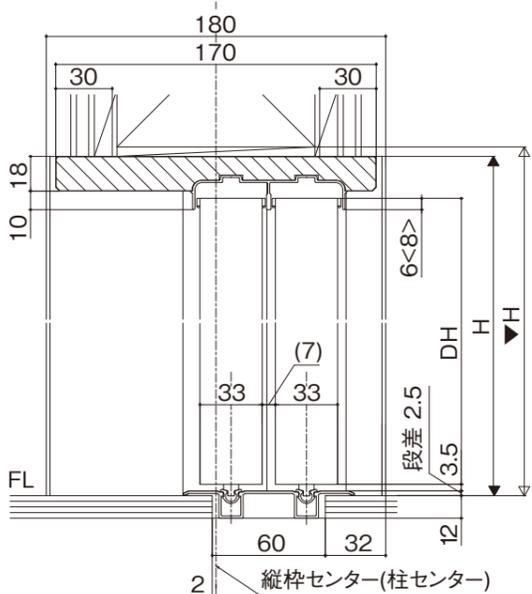
有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法	H呼称(枠外寸法)
W12(1188)	554	H20(2023)
W14(1454)	687	
W16(1644)	782	

算出式: A寸法 = (W - 80) / 2  
DW = (W + 16) / 2

■室内引戸 Vレール方式 片引き2枚建

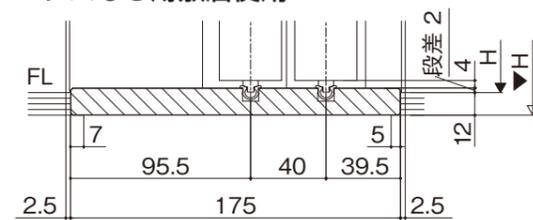
●縦断面図



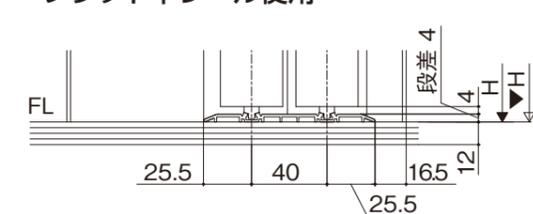
※< >内はフラットレール納まりの寸法を示します。

●埋込敷居使用

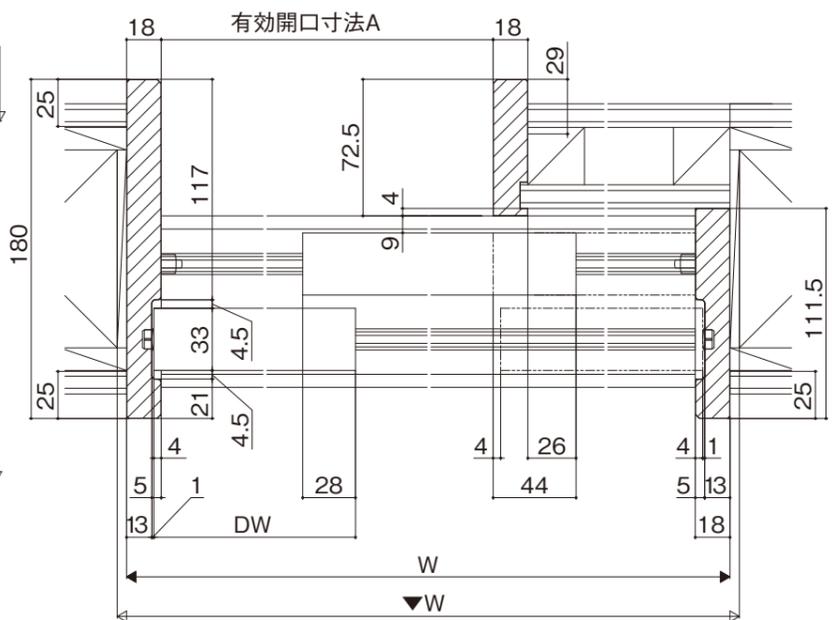
●ツバなし薄敷居使用



●フラット下レール使用



●横断面図



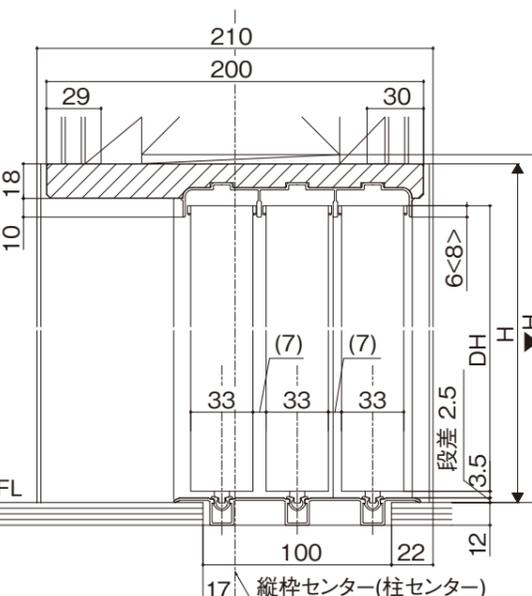
有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法	H呼称(枠外寸法)
W24(2450)	1584	H20(2023)

算出式: A寸法 = (2W - 148) / 3  
DW = (W + 40) / 3

■室内引戸 Vレール方式 片引き3枚建

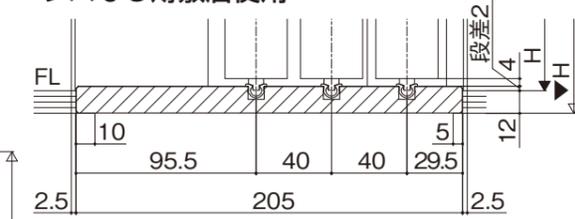
●縦断面図



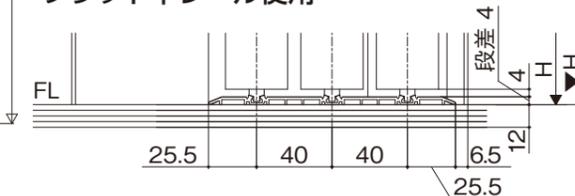
※< >内はフラットレール納まりの寸法を示します。

●埋込敷居使用

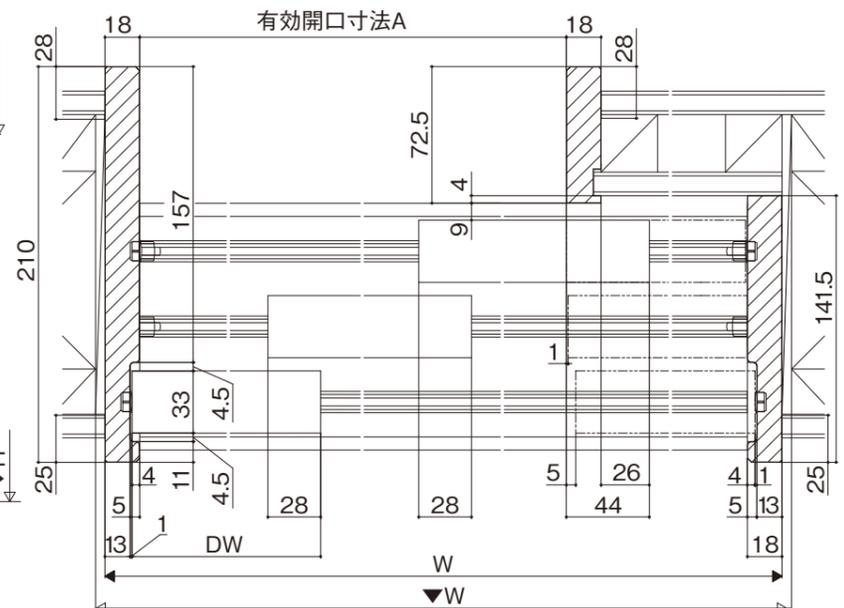
●ツバなし薄敷居使用



●フラット下レール使用



●横断面図



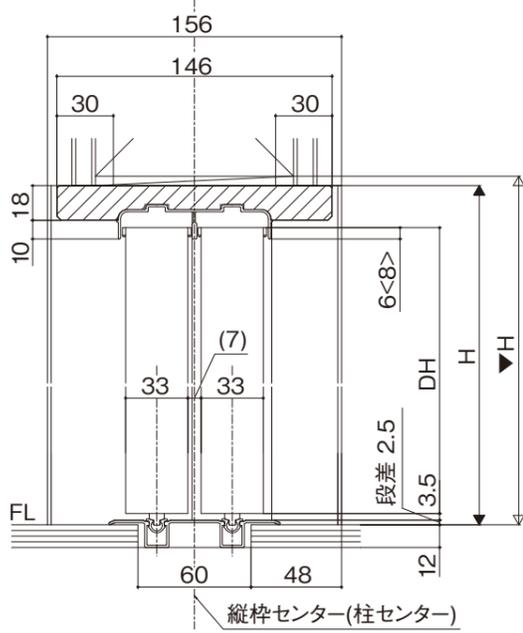
有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法	H呼称(枠外寸法)
W32(3253)	2386	H20(2023)

算出式: A寸法 = (3W - 215) / 4  
DW = (W + 67) / 4

## ■室内引戸 Vレール方式 引違い2枚建

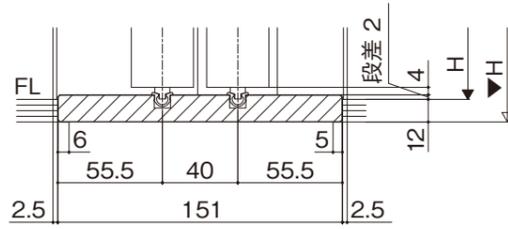
### ●縦断面図



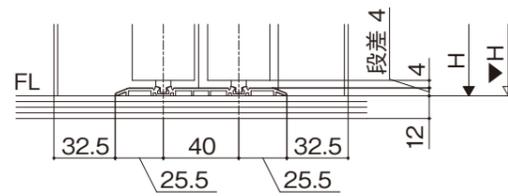
※< >内はフラットレール納まりの寸法を示します。

### ●埋込敷居使用

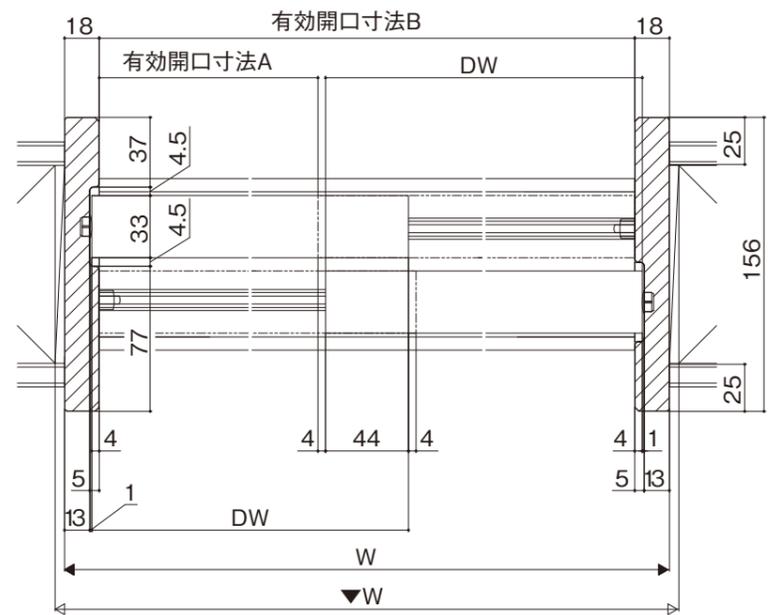
### ●ツバなし薄敷居使用



### ●フラット下レール使用



### ●横断面図



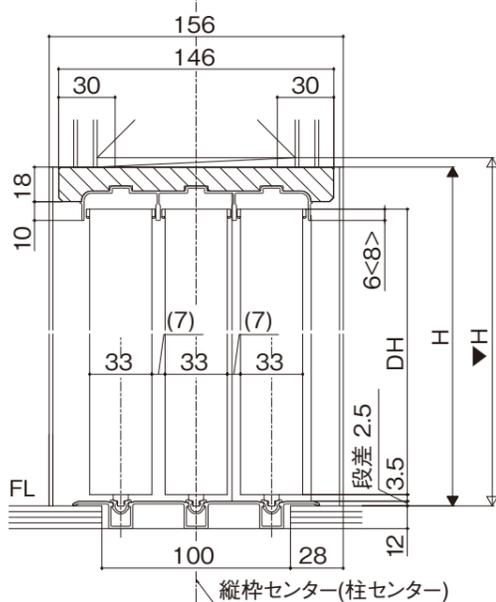
### 有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法	H呼称(枠外寸法)
W16(1644)	778	1608	H20(2023)

算出式: A寸法 = (W - 88) / 2  
B寸法 = W - 36  
DW = (W + 16) / 2

## ■室内引戸 Vレール方式 引違い3枚建

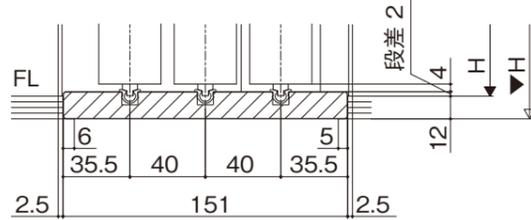
### ●縦断面図



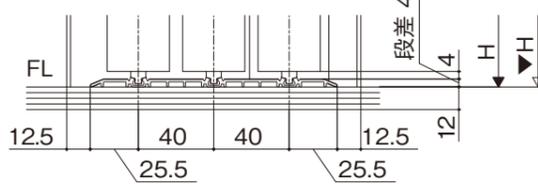
※< >内はフラットレール納まりの寸法を示します。

### ●埋込敷居使用

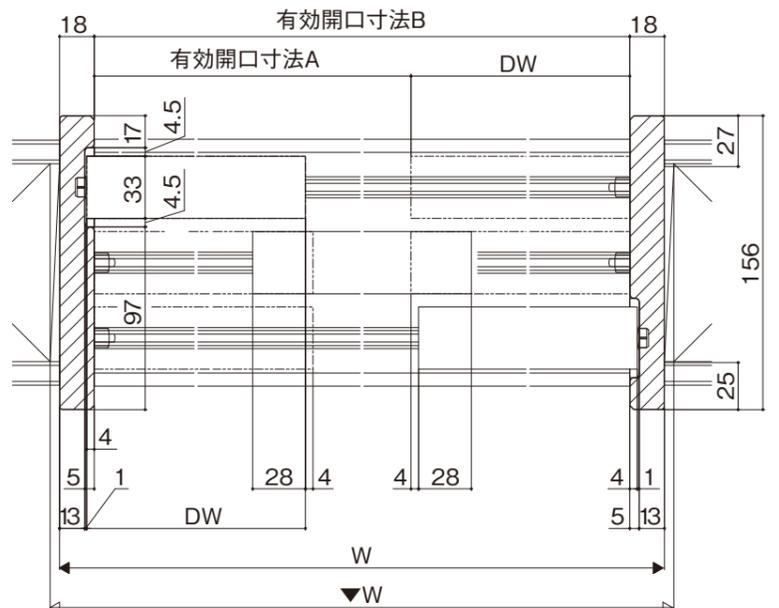
### ●ツバなし薄敷居使用



### ●フラット下レール使用



### ●横断面図



### 有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法	H呼称(枠外寸法)
W24(2462)	1596	2426	H20(2023)

算出式: A寸法 = (2W - 136) / 3  
B寸法 = W - 36  
DW = (W + 28) / 3